



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 8 月 23 日(木)  
西目高校校外学習～能代学習ツアー～ 編

由利本荘市にある秋田県立西目高等学校の土木系列の生徒さんたちが来られるのも、木高研の年中行事の一つになってきました。「西目高校木育(もくいく)スクール 2012」は今年度も「森づくり県民提案事業」に採択され、その一環として10名の生徒さんと2名の引率の先生が能代へおいでになりました。

木高研では、佐々木先生から研究所の説明や震災の被災地・岩手県大槌町で木材を活用した復興事業の紹介を受けたあと、所内のいろいろな実験施設を見学。木材の不思議を実感する実験もしながら、木材の特性や木材がどんなところで活用されているのかを学びました。

昼食のあとは、恒例のお楽しみ企画、毘沙門憩いの森公園のため池でカヌー体験です。木材には楽しい使い方もありますが、少しでも伝わったでしょうか。

木育スクールでは、森林組合の協力をいただいて学校近郊での間伐や炭焼き体験のほか、NWで開発した木製プランターカバーの塗装・組み立て実習も行っています。校外学習で木材を活用した大槌町への木高研の復興支援を知り、先生方や生徒会が話し合い、この木製プランターカバーと花のセットを仮設商店街へ贈らせていただくことになりました。

9月6日(木)お昼過ぎ、3年生の鎌田さんと小山田さんが生徒代表として引率の村上先生とともにに学校を出発。翌日は各所を回り、町全体に残る災害の爪あとにととても驚いたようでした。その後、蕨打直地区の仮設商店街でプランターに入れた花を設置しました。

今回、あっという間に思いもよらない支援のコラボレーションが実現しましたが、これからも色々なかたちで all 秋田 の支援を続けていければ良いですね。

文： 渡辺 千明

秋田県立西目高等学校の HP:

<http://www.nishime-h.akita-pref.ed.jp/>



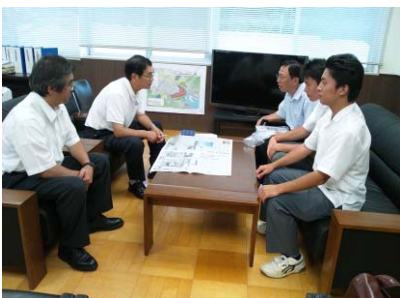
山内秀文先生の指導のもと、熱と水分で変化する木材の性質を知る実験は驚きと歓声の連続です。



この日も 35 度の猛暑の中、暑さにも負けず、元気にカヌーをこぎます。今回は安定性を増すために、2 艘連結もしてみました。



先生も生徒も手際良く植栽していきます。ウッドチップ舗装した歩行路と木製プランターは良く合いました。



碓川町長(左奥)へもご挨拶。高校生が来てくれるだけでも有り難いという言葉に、みな感動しました。



帰り際には、町内の多くの方が聞いておられる FM おおつちにも出演させていただきました。